

表紙の写真

ウラボシ科のハカマウラボシ *Drynaria fortunei* (Kunze ex Mett.) J. Sm. (= *D. roosii* Nakaike), 骨碎補, **neoriocitrin**

(中国湖南省永州市にて, 2016年7月22日, 小松かつ子撮影)

骨碎補は接骨、止痛、駆瘀血、消炎、強壯薬として、腰膝の筋骨の疼痛、打ち身などの外的炎症による痛み、瘀血による痛み、腎虚による慢性下痢、耳鳴り、歯痛などに応用される。当研究所の研究により、熱水抽出エキスに、大脳皮質神経細胞における $A\beta(1-42)$ 誘発軸索萎縮に対する再伸展作用及びアルツハイマー病モデルマウスにおける記憶障害改善作用が確認され、脳内移行成分も同定された。現在、骨碎補の標準化研究も進行中であり、今後、臨床研究への橋渡しが期待される。